

さがみはら  
地球温暖化対策協議会

## 会員紹介

合計 142 (令和5年3月1日現在)  
個人 49名 事業者 56社 団体 37団体  
会員紹介は掲載希望の会員から順次掲載します。

### 本州リーム株式会社

本州リームは1968年相模原市南橋本の地で操業を開始しました。皆様にはなじみが少ないかと思いますが、紙製のドラムの製造販売を行っております。鉄の補強材を使ったタイプや、ミシンで縫い合わせるタイプのドラム。環境問題を解決する為に、すべて接着剤で貼り合わせる完全リサイクルできるタイプのドラムや、鉄と紙がワンタッチで分離できるタイプを製造販売しております。また、同じく創業時からハムソーセージの両端を縛っているクリップやその結索機等の輸入販売と、それら機械設備のメンテナンスを業務として行っています。こちらは皆様におかれましては、一度はお目にかかっているかと思いますが、地球環境にやさしいドラム(梱包材)をコンセプトにお役に立てたらと考えています。



## 出前講座の開催

令和4年度は2件実施しました

藤野中央公民館 7月28日(木)・星が丘公民館 8月5日(金)

「地球温暖化O×クイズ」や「ソーラーランタン工作」を行いました。電気を消してランタンを照らすと、とてもきれいに投影されました。「さがぼーくんかるた」の好きな札にシールを貼ってもらい、地球温暖化対策を楽しく学んでいただきました。

### 地球温暖化対策の講座やイベントを開催しませんか

当協議会では会員の協力を得て地球温暖化対策についての講座やイベントを実施しています。無料で講師を派遣していますので、こどもセンター、公民館、学校、自治会などの事業にぜひご活用ください。子ども向け、大人向け、親子向け、また下記をいくつか組み合わせた講座も可能です。お気軽に当協議会事務局にお問い合わせください。

#### <講座の実施例>

- ①地球温暖化対策の講座  
地球温暖化の説明、省エネ実験、家庭でできる省エネ対策など。
- ②工作教室(材料費は自費となります。110円～500円ほど)ソーラーランタン工作・ソーラークッカー工作・ソーラーオルゴール工作など。
- ③地球温暖化クイズ  
クイズ形式で楽しみながら温暖化対策を学びます。
- ④ジャンボかるた大会  
小学校低学年から参加可能。かるたの貸し出しも可。



講座の様子



ソーラーランタン工作



地球温暖化防止  
さがぼーくん  
かるた



## 会員募集中

さがみはら地球温暖化対策協議会に入会して温暖化対策と一緒に取り組みませんか?当協議会の目的に賛同する個人・事業者・団体はどなたでも入会していただけます。また、市外の方の入会も可能です。

会費 1口1,000円/年  
個人会員1口以上 事業者・団体会員2口以上

### さがみはら地球温暖化対策協議会

住所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 1-3-41  
エコパークさがみはら(相模原市立環境情報センター)内  
TEL・FAX 042-753-9550  
Eメール: info@s-ontaiyou.jp  
HPアドレス: http://www.s-ontaiyou.jp/



ホームページ



# さがぼー通信 第18号

発行日  
令和5年3月

さがみはら  
地球温暖化対策協議会  
〒252-0236  
相模原市中央区富士見 1-3-41  
エコパークさがみはら  
(相模原市立環境情報センター)内  
電話 / ファクス 042-753-9550  
Eメール info@s-ontaiyou.jp  
●http://www.s-ontaiyou.jp/



## 「移動をエコに!!」



# 実践! スマートムーブ

### スマートムーブとは?

スマートムーブは、日常生活の様々な移動手段を工夫し、CO<sub>2</sub>排出量を削減しようという取組です。CO<sub>2</sub>を排出しない自転車や徒歩での移動を積極的に選択したり、自家用自動車での移動を公共交通機関に置き換えたりすることで、CO<sub>2</sub>排出量を削減できます!

### シーンに合わせて移動手段を選ぼう!

#### 実践! ①

### 公共交通機関を利用しよう

通勤や通学、ちょっとしたお出かけには電車やバスを選んでみて

#### 実践! ②

### なるべく自転車や徒歩で移動しよう

CO<sub>2</sub>を排出しない自転車や徒歩での移動は地球にやさしい! しかも健康的!

#### 実践! ③

### エコカーに乗ろう

EV(電気自動車)やFCV(水素自動車)は走るときにCO<sub>2</sub>を出さないよ

#### 実践! ④

### 移動手段を上手に組み合わせよう

長距離移動は飛行機、新幹線、バス、自転車等を使い分けてみて

#### 実践! ⑤

### シェアサイクル、カーシェアリングを活用しよう

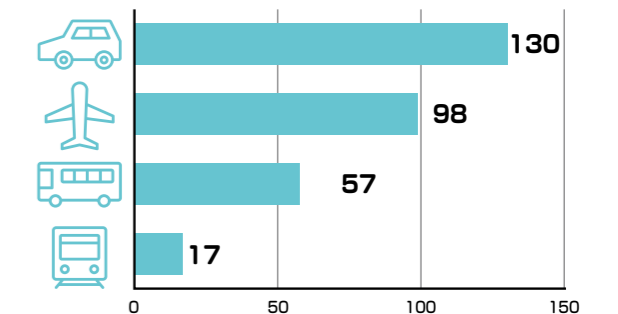
必要な時だけ使うと、便利で環境にもやさしいよ

### 移動手段でこんなに違う! CO<sub>2</sub> 排出量

#### CO<sub>2</sub> 排出量の比較

マイカーで移動する場合のCO<sub>2</sub>排出量を10とすると、鉄道は約1、バスは4~5で、マイカーより少なくなります。徒歩や自転車はもちろんCO<sub>2</sub>排出量ゼロ!

[1人が1km移動する際の、輸送手段別の二酸化炭素排出量]



出展・参考: (国土交通省) 輸送あたりの二酸化炭素排出量 (旅客)

『徒歩』や『自転車』を積極的に選んで、  
エコで健康的な生活を目指してみよう!



### 市に対する「官民協働による公共施設への再生可能エネルギー導入の提言」 令和5年2月14日(火) 相模原市役所

相模原市本村市長に「官民協働による公共施設への再生可能エネルギー導入の提言」についての提言書を提出しました。  
相模原市の公共施設の再生可能エネルギー導入が促進され、市、民間事業者、市民によるゼロカーボン都市さがみはらの実現に近づくことを望んでいます。



左から塚原調査・研究部会長、本村市長、竹田会長、北村対策部会長

### 令和4年度 会員研修

会場(エコパークさがみはら)とオンライン(Zoom配信)を併用して研修会を開催しました。 ※一般の方の参加も可能です。

#### 「私たちと子供たちの気候変動」 ～我々はどこにいて、どこへむかうのか?～ 12月20日(火)

講師：塩竈 秀夫氏(国立研究開発法人 国立環境研究所 地球システムリスク解析研究室 室長)

産業革命以降、人類が化石燃料を大量に消費し、森林を切り開くなどしてきた結果、膨大な量の二酸化炭素が放出され、大気中の二酸化炭素濃度は過去80万年間の最大値をはるかに超えて、現在も増加し続けています。二酸化炭素を含む温室効果ガスの濃度が急激に増加したことで大気・陸・海洋を暖めようとする温室効果が強くなり、19世紀後半から現在までに世界平均地上気温は1.1℃上昇しました。このような人間活動による気候変動は、既に日本を含む世界の多くの地域で極端な熱波の発生頻度を上げ、豪雨時の降雨量を増やすなど、様々な気象現象に影響を与えています。このことは、自然と人々に対し広範な悪影響と損失をもたらしています。

これからも温室効果ガスを排出し続ければ、さらに気候は変化していき、現状より多くの悪影響と損失が現れることとなりますが、どのレベルで気候変化と影響の増加を止められるかは、我々がいつどれだけ温室効果ガスの排出量を減らせるかにかかっています。

気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定であるパリ協定が2015年に結ばれるまでは、今世紀中に4℃の世界平均気温上昇が生じるようなペースで温室効果ガスの排出量が増え続けていました。パリ協定以降、世界中で温室効果ガス排出削減のための努力が行われてきた結果、今世紀中の温暖化を3℃未満に抑えられる可能性が高くなってきました。しかしながら、パリ協定で掲げた「世界平均気温上昇を2℃未満、できれば1.5℃未満に抑える」という目標を達成するためには、さらに温室効果ガス排出削減を進めていく必要があります。また、たとえ世界平均気温上昇を2℃や1.5℃未満に抑えられたとしても、現在までの1.1℃よりは温暖化しているため、気候変動の影響は大きくなります。そのため、温室効果ガス排出量を削減するとともに、それでも表れる悪影響を低減するための対策も同時に進めていく必要があります。

気候変動は遠い将来の話ではなく、既にその影響は日本でも表れており、対策を強化していかなければ現在の大人が生まれてくる子供達はより長い間、どんどん大きくなる気候変動の影響を受けていきます。子供や孫の世代がどのような未来を生きていくかは、大人が温暖化対策をどれだけ進められるかにかかっています。

#### 「未来をつくるでんきのえらび方」 1月20日(金)

講師：田淵 透氏  
(パワーシフトキャンペーン事務局・当協議会会員)  
パワーシフトについて学ぶ研修会を開催しました。どのようにしたら持続可能なエネルギー社会に変えていけるのか、私たち一人ひとりが考えていかなければならない課題であると考えさせられる研修会でした。

#### 「木質バイオマスの現状と 木質バイオマスボイラーの有効利用」 2月27日(月)

講師：藤井 満氏(緑産株式会社 プロジェクト 営業部 部長)  
木質バイオマスとその有効活用に関し、事例を通して説明していただきました。木質バイオマスエネルギーの活用は豊かな自然を有する相模原市に相応しい取り組みであると改めて感じた研修会でした。

### 栗島技術士事務所のSDGsの取組紹介

#### 【SDGs取組み方針】

◆パートナーとの連携によりSDGsを支援

#### 【主な活動内容】

- ①さがみはら環境まつりでエコをPR
- ②ホームページで最新SDGs情報を発信
- ③SDGs講演[テクニカルショウヨコハマ及び 技術士会の各種セミナー]
- ④ISO 14001 認証企業の環境課題解決支援
- ⑤神奈川県SDGsパートナー登録支援
- ⑥さがみはら産業創造センターかわら版発行



### 令和4年度 イベント・バス見学会

少しずつですが皆様にお会いできる機会が増えました。

#### 「日産わくわくエコスクール」

9月3日(土) エコパークさがみはら

講座では、おはなしや実験を通して地球温暖化と電気自動車について学びました。

教材の手回し発電機を用いたモデルカーを専用のサーキットで走らせる参加者の皆さんの楽しそうな様子が、印象的でした。講座終了後はEV車「日産サクラ」とパワームーバーを用いて扇風機を動かす実験を行い、災害時の非常用電源としても活用できることを実感しました。



#### 「さがみはら市民活動フェスタ2022」

11月13日(日) 横山公園

「COOL CHOICE宣言」、「さがぼーくんの缶バッジづくり」や「さがぼーくんかるたの展示」を行いました。さがぼーくんが登場すると「さがぼーくん、かわいい!」と大いに盛り上がり、多くの方に当協議会と温暖化対策について知っていただく良い機会となりました。



#### 「バス見学会～再生可能エネルギーの現場を見に行こう～」 1月14日(土) 山梨県

3年ぶりの開催となったバス見学会は小学生8名を含む25名の皆様にご参加いただき、米倉山太陽光発電所PR施設「ゆめソーラー館やまなし」と家中川小水力市民発電所「元気くん1号・2号・3号」を見学しました。

「ゆめソーラー館やまなし」は、太陽エネルギーと地球環境について映像で学ぶことができる「太陽エネルギーゾーン」と山梨県の電気の歴史と再生可能エネルギーや次世代エネルギーに関する展示を行っている「山梨のエネルギーゾーン」があり、施設の方に説明していただきながら見学しました。展望台からは発電所全体が見渡せ、約80,000枚の太陽光パネル(出力10,000キロワット)を見ることができました。



ここで迎えてくれた2匹の可愛いヤギは小学生の皆様にも大人気でしたが、施設内の除草にも協力しているそうです。

家中川小水力市民発電所「元気くん1号・2号・3号」では都留市役所職員の方に説明していただきながら、その街並みと3基の小水力発電所を見学しました。都留市は1,000m級の山々に囲まれ、水に恵まれた地形です。この恵まれた水を使用して、2001年頃から「水の力で、地域を盛り上げたい」という思いから市民が水力発電による地域活性化に取り組んでいたそうです。元気くんの建設にあたっては市民参加公募債が設置費に用いられており、市民の関心の高さがうかがえます。実際見学するとその迫力に驚かされました。こちらで発電した電気は、売電するほか市役所で使用されているそうです。その土地や地域にあった再生可能エネルギーの現場を参加者の皆様と見学することができ、有意義な1日となりました。



#### SAGAMIHARA SDGs EXPO 2月3日(金)・4日(土) ユニコムプラザさがみはら

当協議会は2月4日に出席しました。当日はラジオの公開録音や天気と環境に関する講演会などのイベントがあり、10時の開場前からたくさんの方が並ぶ盛況ぶり。私たちのブースは「STOP! 温暖化 さがみはら」

かるた」の展示、動画を集めた「さがぼーチャンネル」の紹介を行いました。SDGsスタンプラリーがあったり相模チキンの試食会があったりと子供も楽しめるイベントで、沢山の子供たちが集まってくれ、SDGsについて学ぶ良い機会になったと思います。

